

## 第 205 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2015 年 4 月 11 日（土） 13:30～19:00

場所：関西大学千里山キャンパス 学術フロンティアセンター2 階 F21 会議室

（〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、秋山（賞選考）、乾口（将来構想）、井上（会計）、  
工藤（大会事業）、徳丸（事業）、星野（電子化検討）、関（広報）、前田（庶務、会誌）、  
安信（会計監事）

オブザーバ：萩原（次期会長）、彌富（次期庶務）、橋山（次期大会事業）、堀口（次期事業）、  
三河（次期広報）

欠席者：中嶋（副会長）、佐藤（他学会連携）、和多田（事業監事）

### 1. 前回議事録の承認（資料 205-0）

第 204 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

### 2. 理事会メーリングリスト報告事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

#### (1) 文献データベース委員会からの寄付金について（井上）（資料 205-1）

・井上理事より、文献データベース委員会の寄付金が振り込まれた旨の説明があった。すでに振り込まれた学会の委員会への補助金はすべて使いきっており、今回の寄付金（約 86 万円）は向殿先生のご尽力で得られた外部資金とのこと。この寄付金は若手の奨励賞などに使用していただければとの中田元委員長の申し出あったことも報告された。本件については問題なく了承された。

#### (2) FSS2016 の進捗状況について（徳丸）（資料 205-2）

・徳丸理事より、FSS の開催について次の通り報告がなされた。まず FSS2016 については、かねてから開催を打診していた東海大学熊本キャンパスの佐松先生から、九州支部で協議の結果開催を承諾した旨の連絡を受け、熊本での開催が決定した。また FSS2017 については、同じく開催を打診していた山形大学の野本先生から、東北支部で協議の結果開催を承諾した旨の連絡を受け、山形での開催が決定した。いずれの FSS についても、支部はローカルアレンジメントのみを担当し、その他の業務を本部主導で行う FSS2014 の高知方式での開催とすることを決定した。

・FSS に関連して井上理事から、高知（FSS2014）の場合は本部から支部に FSS 運営の依頼をしておらず、従来慣例的に FSS の収益の 15%を支部に分担金として返還していたが、今回はどうすればよいかとの質問があった。これについて、本部が主催ということで分担金はなしということに決定した。

#### (3) 事務局委託契約について（井上）（資料 205-3）

・井上理事より、事務局委託業務について、SNS のシステム開始後、支部の概念がなくなり、支部メンバーリストを支部長に郵送していたサービスがなくなったが、これに関して事務局に問い合わせが多数あることが報告された。そのため、支部名簿の管理を復活させて事務局委託契約業務に含めたい旨の説明がなされ、了承された。

・これについて、事務局がどこまで作業をしたら良いかを明確にすべき、個人情報取り扱いとなるため開示は慎重にすべき、などの意見が出された。公開手順としては、支部長には事務局への要望があれば支部員リストを開示し、支部員から要望があった場合には支部長経由で承認を得た場合のみ開示することになった。本件については今年度の拡大事業委員会で周知することも確認された。

#### (4) 学会ホームページ・メーリングリスト更新について（関）（資料 205-4）

・関理事より、学会ホームページのトップページをシンプルに変更したことが報告された。その他、学会賞規定の改定、次期理事等候補の告知、等についても更新したことが報告された。

・評議会メーリングリスト（ML）は鬼沢評議員長の依頼で作成したことが報告された。本件については、今後次期広報委員会（三河委員長）が担当する予定。現在、Gmail で学会 ML を作成しているが、Gmail の場合、セキュリティ上、加入承認ができない大学などもあるため ML が見られない可能性がある

- るので今後議論が必要であるとの報告もあった。
- ・さらに関理事から SOFT-CR の公開を開始したことも報告された。レンタルサーバ上（8062 円／年）にコンテンツをアップしたが、近日中に学会 HP のトップページにもリンクを張る予定とのこと。
  - ・星野理事より、SOFT-CR だけでなく、学会 HP や ML もレンタルサーバ上に作成できるかもしれないとの説明があった。将来的には SOFT-CR と学会 HP は一つにまとめた方が良いとの指摘もあった。
- (5) 学会ホームページへの日本学術会議ニュースの掲載について（前田、関）（資料 205-5）
- ・前田理事より、標記の件について事務局から対応の依頼があったことが報告された。これに関して関理事より、すでに日本学術会議の第 1 部ニューズレターに学会 HP からリンクを張ったとの報告がなされた。
- (6) 国際誌支払いについて（林）（資料 205-10）
- ・林副会長より、SOFT が窓口になっている外国雑誌の購読料について報告があり、了承された。
- (7) 会計会員担当からの報告について（井上）（資料 205-13）
- ・井上理事より、昨年度の SCIS の収益はこれから決算に組み込む予定であるが、現時点では会費収入の約 600 万円はほとんど事務局委託経費に回っているとの報告があった。会誌収入については発行が遅れているため、今年度の請求が遅れているとのこと。
  - ・馬野会長より、学会誌は収支トントンであり、FSS と SCIS の収益で他の予算をまかなっている状況であるとの説明があった。
  - ・井上理事より、昨年度の入会退会者のリストがフィックスしたことが報告され、年間 15 名程度の自然減の状態であるとの説明があった。現在の会員数は 627 名（正会員）、29 名（特別会員）。
  - ・準会員を今後どう扱うかについて議論を行った。現在の準会員は、FSS に登録するたびに同じ人が何度もカウントされているため、廃止すべきとの意見が多く出された。これについて、準会員のカウントは廃止することに決まり、このことについては理由とともに総会で会計理事（井上）が説明することになった。また学会誌の会員数の欄にも廃止理由を併記することになった。
  - ・サイト会員については現在 31 研究室、62 名相当となっているが、こちらは現状のまま 1 研究室 2 名相当として扱うことになった。名誉会員と特別会員は会員数表示の際には正会員、学生会員、サイト会員の下に配置することになった。
- (8) 編集委員会からの報告について（三河）（資料 205-14）
- ・三河編集委員長より、今年から来年にかけての特集号と解説についての説明がなされた。また今年からファストトラックという迅速な査読システムを取り入れたことも報告された。
  - ・編集委員長から、学会誌の発行が遅れており、ご迷惑をおかけしていることのお詫びがあった。毎号最善の努力はしているが、対処できていないこと、学会誌が薄くなったので連載や解説原稿が遅れても待つしかなく、その結果 12 月号が約 2 ヶ月遅れてしまったこと、印刷担当者も入れ替わったため作業が難航していること、などが報告された。
- (9) 理事会だよりについて（関、馬野）（資料 205-15）
- ・馬野会長から、学会誌 4 月号の理事会だよりについて報告があった。この連載については理事会の風通しを良くする意味合いもあり、次期理事会でも継続してはどうかとの意見があった。

### 3. 理事会メーリングリスト審議事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

- (1) 学会誌 4 月号掲載予定の総会案内と評議会開催案内について（前田、林）（資料 205-6）
- ・前田理事より、学会誌 4 月号掲載予定の総会案内についての説明があった。今回は会場となる部屋（関西学院大梅田キャンパス内）が 10:30-15:30 のみの予約で、萩原次期会長より評議会終了後に新理事会を開催したいとの要望があったため、総会と評議会の間休憩を 15 分とし、以下の予定で実施することが承認された。後片付けの時間帯に、同時に新理事会を開催予定。
- 10:30-12:00 第 207 回理事会（直前の予行演習）  
12:00-13:00 昼休憩（弁当）  
13:00-14:00 第 26 回総会  
14:15-14:45 評議会  
14:45-15:30 後片付け（新理事会）

- ・総会の詳細計画については、次回理事会にて審議することになった。
  - ・林副会長より、評議会は今期でメンバーが交代することを事務局に確認したことが報告された。今回の評議会の司会は評議員長（鬼沢先生）が担当されることも確認された。
- (2) FSS、SCIS 等の実行委員会編成に係る支部への協力依頼について（工藤）（資料 205-7）
- ・工藤理事より、今後の FSS と SCIS については本部主導（高知方式）で実施することが確認された。この際、支部への依頼方法について、工藤理事より案が 2 つ呈示され、個人的な伝手に頼らない実行委員会の編成方法を検討する必要があるとの意見が出された。
  - ・大会事業委員会の組織自体が現状では個人の伝手に頼っている。これを避けるために以下の 2 案が提案された。
    - （案 1）各支部に協力をお願いをし、会議運営の担当者の依頼（適任者の推薦）をする。
    - （案 2）サポート支部を決めてお願いしてしまう。
  - ・馬野会長からは、大会を組織した見返りに予算を配分することも必要で、委員会に予算をつけて参加費や旅費などを出すインセンティブを与えるのも良いのではとの意見が出された。また林副会長からは、サポート支援を依頼するなら担当者を理事クラスに任命したほうが良いとの指摘もあった。
  - ・馬野会長より、結局は大会事業委員長の個人的伝手に頼らざるを得ないので、人選に困ったら理事会で審議すれば良いとの指摘があった。今後は担当者人選のための候補者を集める仕組みを作る方向で検討すべきであるとの意見も出された。
- (3) レンタルサーバへの移行について（星野）（資料 205-8）
- ・星野理事より、まずはカラーチップスへの依頼内容の変更についての議決の要請があり承認された。
  - ・サーバ中から SNS 名称を取り、カラーチップスからレンタルサーバへ学会 HP を移設する計画について説明があった。現在のサーバメンテナンス費用は年間契約 40 万円程度。プログラム管理は年間数万円程度かかっているが、レンタルサーバにするとこれらの費用が激減する。
  - ・レンタルサーバへの移行に向けての問題は、Paypal（年会費はクレジットカード決済を使用可能。学会参加費が問題）と論文投稿システム（EasyChair は英語対応で一部日本語対応、EDAS は英語のみ対応。登録時に日本語が使えないのが問題）の 2 つである。これらを実際の会議開催担当者が対応できるかどうか課題になる。本件は継続して議論することになった。
  - ・林副会長からは、無料の論文投稿システムだけではなく有料のシステムの利用も検討してはどうかとの意見も出された。
- (4) 支部と研究部会の規程修正について（徳丸）（資料 205-9）
- ・徳丸理事からは、支部研究部会規程の修正点（支部改廃の項目削除、支部組織のエリア関連項目を削除等）について説明があった。修正については了承されたが、事業報告と決算報告の提出日（4 月 15 日）が具体的に記載されているため、「指定された期日」と変更することになった。
  - ・馬野会長より、本修正は理事会で承認可能であるが、総会でも報告したほうが良いとの意見が出され、承認された。そのため、本改定の施行は総会后 6 月 21 日からとすることになった。今回出された意見をもとに修正案の文言を次回までに事業担当理事から呈示することになった。
- (5) 「第 2 回将来構想フォーラム」計画案について（乾口）（資料 205-11）
- ・乾口理事より、第 2 回将来構想フォーラムについての計画の説明（前回理事会での提案の改定案）があった。今回は研究部会を中心に議論する予定で FSS2015 の会場に近い場所で開催されることが説明され、了承された。
- (6) SOFT 研究推進支援（仮称）案について（乾口）（資料 205-12）
- ・乾口理事より、前回理事会で提案した研究推進支援事業の改定案の説明があった。本支援事業では、単に援助金を出すのではなく、学会参加費や論文投稿費などの免除により研究活動資金として支援する。科研費の応募終了後 11 月あたりに募集し、ノルマとしてチュートリアルのような長い研究成果発表を行ってもらおう予定。
  - ・事業の名称は、ファジィルネサンスを排除し、SOFT 研究推進支援事業と命名することになった。
  - ・今後決めないといけないこととして、応募用のフォーマットを作成すること、応募条件・報告義務（義務と権利を明確化）を定義すること、募集人数を正確に決めること、などが確認された。
  - ・本件については、今後、将来構想委員会で審議して、理事会で最終承認することとなった。
- (7) FAN2016 について（関、馬野）（資料 205-16）
- ・関理事より、以前の理事会で報告した FAN への当学会の再参画について、もし参画する際には正式

に理事会として申し出をすべきであるとの意見が出された。FANはSICE、電気学会、機械学会、SOFTでこれまで構成されており、4年に一度開催企画担当が回って来る。主催の場合は、完全に学会の収益になることが報告された。

- これについて、林副会長から、来年度はSCIS&ISIS2016と重複するので、FANを2016に開催するのは確実に無理であり、少なくとも1年ずらす必要あるとの指摘があった。
- FANの開催は毎年9月なので、今後はFSSと共催にする可能性もあるが、現状の業務肥大化に配慮し、結局、SOFTの再参画は現時点では見送ることになった。次期理事会から正式に参画しない旨の報告をしてもらうことになった。
- これとは別に林副会長から、IFSA2017ではトピックを増やし参加者を集めるために、現地の会議と共催にすることも考えているが、SCIS2017を同時開催することが可能かどうかとの打診があった。これについて、韓国側のISISとの調整を今後行っていく必要があるが、SCIS2017として3年連続でSCISを開催することについて了承された。

#### 4. 次回理事会と総会について

次回理事会について、5月23・24・30・31日、6月6・7日で全員に日程調整することになった。

次回は新理事メンバー全員に召集をかけることが確認された。